

3 月期相場概況

3 月期の日経平均株価は約 963 円上昇した。期中の高値は期末 3/31 の日中高値 11,147 円、安値は期初 3/1 の日中安値 10,116 円。

2010 年 3 月期の日経平均は期初を安値に期末にかけて右肩上がりの強い状態が続き、大台となる 11,000 円台を回復し年初来高値を更新した。

3 月期第一週は前期に引き続き、10,250 円を中心とした小動きが続いていたが、欧州の PIIGS 問題・東欧問題、そしてアメリカの金利上昇懸念が払拭され始め海外株が上昇し始めると日経平均も第二週からは上昇を開始した。米雇用統計や、国内でも機会受注が良かったことなどマクロ指標が改善していることを好感し、3 月第二週は一基にレンジ抜け 10,750 円ほどまで上昇した。

第三週は再び戻相場となり、10,750 円を中心とした推移が続けていたが、円安の継続や海外株の上昇が続いていたことから、第四週は再び上昇を開始し、1 月高値を抜き大台 11,000 円目前の 10,996 円まで上昇した。期末要因もあり、3 月末は大台 11,000 円を突破し、結局 11,089 円で今期を終えた。

本資料使用上の留意点について

・本資料は当社が信頼できると考える情報ベンダーから取得したデータをもとに作成されておりますが、機械上に誤りが発生する可能性があります。当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎません。本資料は、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料にて言及されている投資やサービスはお客様に適切なものであるとは限りません。また、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。本資料の論旨と一致しない他のレポートを発行している、或いは今後発行する可能性があります。本資料の利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。